



DYFLEX

建築・土木用 軟質形低粘度形注入エポキシ樹脂

・総プロ(土木補修用エポキシ樹脂注入材)3種相当品 ・NEXCO(ひび割れ注入材)3種相当品

EverBond® EP-301

JIS A 6024:2015 相当品 (建築補修及び建築補強用エポキシ樹脂)

エバーボンド EP-301 : JAIA-008750 F☆☆☆☆ / JAIA-503733 4VOC 基準適合

【☆主剤3kg+硬化剤2kg=5kgセット】

注入補修用・充填接着用軟質形 低粘度形エポキシ樹脂

エバーボンド® EP-301

エバーボンド® EP-301 は、軟質形低粘度タイプの注入用エポキシ樹脂です。

コンクリート構造物の挙動があるひび割れ、モルタルやタイルの浮き等の注入・充填接着に適しています。ひび割れ注入は、自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (SK グラウトプラグ A 工法) により微細なひび割れに対し優れた注入性と追従性と接着性が期待できます。



建築構造物 新設 腰壁



土木構造物 改修 トンネル内壁

エバーボンド® EP-301 の特長

- 作業性が良い — 低粘度で混合性・注入性に優れています。
- 追従性が良い — 材料の伸びがある為、動きに追従します。
- 接着性が良い — 接着力が強く、ひび割れ部への注入により、構造物を一体化します。
- 収縮が小さい — 硬化時や経時による収縮が殆どありませんので、充填後の肌分かれなどを起こしません。

エバーボンド® EP-301 の用途

- 挙動するコンクリート構造物のひび割れの隙間やモルタル等の浮き部の注入・充填接着
- 手摺埋設空洞部への注入・充填接着

建築・土木用 軟質形低粘度形注入エポキシ樹脂

・JIS A 6024:2015 ・総プロ (土木補修用エポキシ樹脂注入材) 3種 ・NEXCO (ひび割れ注入材) 3種相当品

性状

| エパーボンド®EP-301 | | |
|---------------|-----------------------------|------------|
| 項目 | 主剤 | 硬化剤 |
| 主成分 | エポキシ樹脂 | 変性脂肪族ポリアミン |
| 外観 | 透明液体 | 褐色透明液体 |
| 混合比 | 主剤：硬化剤 = 3：2 (重量比) | |
| 混合比重 | 1.10 ± 0.1g/cm ³ | |
| 可使用時間 | 50分 (23 ± 2℃ : 300g) | |

物性データ《建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂》JIS A 6024:2015 注入エポキシ樹脂 (軟質) の品質に基づく試験

| JIS A 6024:2015 品質項目 | | エパーボンド®EP-301 | | |
|----------------------|----------------|-----------------|-------------|-------|
| 試験項目 | 試験条件 | 試験結果 | JIS 規格値 | |
| 粘度 (mPa・s) | 標準条件 A 23 ± 2℃ | 448 | 100 ~ 1,000 | |
| 接着強さ A 法 (MPa) | 標準条件 B 23 ± 2℃ | 9.7 | 3.0 以上 | |
| | 低温条件 B 5 ± 1℃ | 9.9 | 1.5 以上 | |
| | 湿潤条件 | 13.3 | 1.5 以上 | |
| | 乾湿繰返し条件 | 8.5 | 1.5 以上 | |
| 引張特性 B 法 | 標準条件 B 23 ± 2℃ | 9.9 | 1.0 以上 | |
| | 低温条件 C 5 ± 1℃ | 11.8 | 1.0 以上 | |
| | 加熱劣化条件 80 ± 3℃ | 28.5 | 1.0 以上 | |
| | 破断時伸び (%) | 標準条件 B 23 ± 2℃ | 136 | 50 以上 |
| | | 低温条件 C 5 ± 1℃ | 133 | 50 以上 |
| | | 加熱劣化条件 80 ± 3℃ | 53 | 50 以上 |
| 硬化収縮率 (%) | 標準条件 B 23 ± 2℃ | 1.3 | 3 以下 | |
| 加熱減量 A 法 | 質量変化率 (%) | 高温条件 B 110 ± 3℃ | 3.2 | 5 以下 |
| | 体積変化率 (%) | 高温条件 B 110 ± 3℃ | 3.8 | 5 以下 |

物性データ 「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(建設省総合技術開発プロジェクト) 注入材および充填材の品質規格 (土木補修用エポキシ樹脂注入材) 3種に基づく試験

| 「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(総プロ) 3種 | | エパーボンド EP-301 | |
|---------------------------------------|--|---------------|---------|
| 試験項目 | | 試験結果 | 規格値 |
| 粘度 (cps) | | 780 | 1000 以下 |
| 可使用時間 (分) | | 90 | 30 以上 |
| 硬化時間 (時間) | | 20 | 24 以内 |
| 硬化収縮 (%) | | 0.03 | 0.1 以下 |
| 伸び率 (%) | | 120 | 100 以上 |
| モルタル付着強さ (乾燥面) (kgf/cm ²) | | 65 | 60 以上 |
| 付着耐久性保持率 (%) | | 93 | 60 以上 |

物性データ 「構造物施工管理要領」東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株) 表3-4-1 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格3種に基づく試験

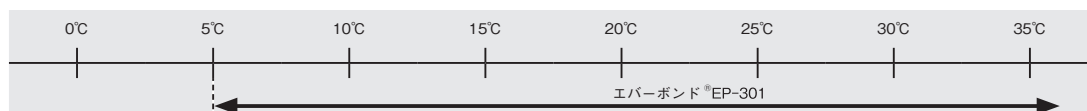
| NEXCO「構造物施工管理要領」ひび割れ注入材 (3種) | | | エパーボンド EP-301 | | |
|------------------------------|-------------------------|-----------|-------------------|---------|-------|
| 試験項目 | 単位 | | 試験結果 | 規格値 | |
| 未硬化の注入材 | 粘度 (×10 ⁻³) | Pa・s | 780 | 1000 以下 | |
| | 可使用時間 | min | 50 | 30 以上 | |
| | 収縮率 | % | 1.5 | 3.0 以下 | |
| 硬化した注入材 | 伸び | % | 120 | 100 以上 | |
| | | 乾燥面 | N/mm ² | 6.5 | 6 以上 |
| | モルタル付着強さ | 湿潤面 | N/mm ² | 3.5 | 3 以上 |
| | | 付着力耐久性保持率 | % | 93 | 60 以上 |

梱包容量

| | |
|-------------------------------|-------------------|
| 5kgセット (主剤:3kg、硬化剤:2kg) / ケース | 低粘度形 (II-L-R) 一般用 |
|-------------------------------|-------------------|



材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス

〒107-0051
東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F
TEL.03-6434-7249 FAX.03-6434-7375

東京支店 / TEL.03-6432-9433 FAX.03-6432-9574
大阪支店 / TEL.06-6292-0511 FAX.06-6292-0522
名古屋支店 / TEL.052-735-3991 FAX.052-735-3992
横浜支店 / TEL.045-290-9751 FAX.045-290-9755
札幌営業所 / TEL.011-804-8050 FAX.011-804-8061
仙台営業所 / TEL.022-207-5010 FAX.022-207-5011
新潟営業所 / TEL.025-365-3010 FAX.025-365-3011

金沢営業所 / TEL.076-290-7408 FAX.076-290-7410
さいたま営業所 / TEL.048-646-4870 FAX.048-646-4871
千葉営業所 / TEL.043-380-7981 FAX.043-380-7982
多摩営業所 / TEL.042-402-5200 FAX.042-402-5201
広島営業所 / TEL.082-568-6085 FAX.082-262-7212
福岡営業所 / TEL.092-432-9220 FAX.092-432-9221